

【2022年度ご報告】

ソフトバンク「チャリティスマイル」プロジェクト
～社会的養護のもとで生活する子どもたちのためにできたこと



赤い羽根の中央共同募金会では、『ソフトバンク株式会社』が実施している携帯電話契約者向け社会貢献サービス「チャリティスマイルプロジェクト」（2016年～）」の寄付金をもとに、社会的養護のもとで生活する子どもたちが、社会で自立して生活するにあたり直面する様々な困難の解決に向けて、退所前および退所後に支援する助成事業を実施しています。

2022年度の助成先の活動例をご紹介します。

■チャリティスマイルプロジェクトによる助成

里親家庭や児童養護施設等で暮らす子どもたちのための

「はたらくトータルサポート」～はじめの一步・おしごとフェア～

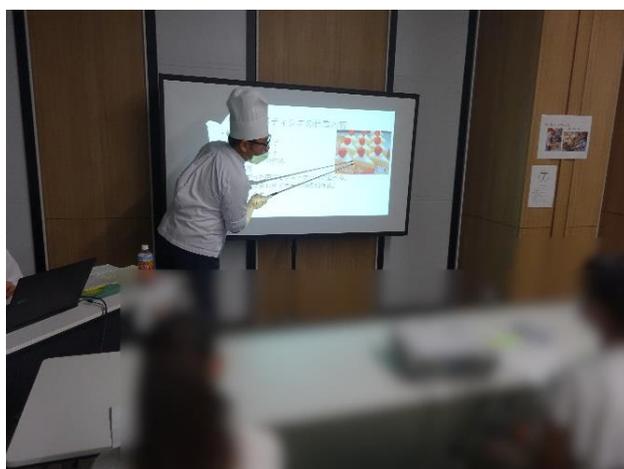
(NPO法人おかえり)

チャリティスマイルの助成先であるNPO法人おかえりは、奈良県内の里親家庭や児童養護施設の入所児童や退所者が社会で自立生活できるよう、さまざまな相談支援を行っています。

子どもたちが、早い段階から「はたらく大人」と出会い、生き方・働き方に触れる機会を提供し、自分の得意不得意、興味のある分野や苦手な分野に気づき、自分に合った進路や職業を見つけ、自分らしく生きることができるようサポートすることに力を入れています。

今回、チャリティスマイルの助成金で「はたらくトータルサポート事業」を実施。里親家庭や児童養護施設等で生活している子どもたちや里親・施設職員からのニーズを集約し、子どもたちが未来ビジョンを描けるよう、子どもたちへのアンケートをもとにさまざまな仕事などをピックアップし、共につくっていく「おしごとフェア」を開催しました。

今回の対象は中学生で、奈良県内の6施設中4施設から30名の参加がありました。早い段階から「はたらく大人」と出会い、生き方・働き方に触れる機会があることで、進路や就職先を見つけ、自分らしく生きることができるきっかけの一つになればということで、8つ【美容師、看護師、自動車整備士、消防士、保育士、警察官、パティシエ、ゲームクリエイター】の職業の方をお招きし、それぞれのブースで、どんな仕事をしているかなどの話を聞きました。



参加した中学生からは、

- ・大変なこと・楽しいこと・嬉しいことが沢山ある仕事だと知った
- ・免許を取っておくとよいことがわかった
- ・チームで働くことがあると分かった

等の感想があり、「はたらく」という観点で仕事を知るよい機会になったようです。

また、ご協力いただいた講師の方からも、「今後も継続して協力して下さる」、「職場見学へのお誘いのお言葉をいただく」など、「はたらくトータルサポート」への協力もお願いできる体制ができました。

身近に職員以外のはたらく大人と接する機会が少なく、はたらくことや職業などのイメージをもちにくい環境で暮らしていく子どもたちが、やりたいことやなりたい職業が明確になっていない段階から多様な職業に触れることで、自分に合った仕事や進路を見つけられる機会が増加し、自分の興味に合った仕事や進路に進むことができ、長く就労・就学できる可能性が高まります。

事業に参加した子どもたちや講師の方、施設職員の声から、来年度はより視野を広げた形で将来のことを考える企画につなげたいと考えています。